

桃花台地域拠点における施策・まちづくり方針（案）

現状・課題	アンケート結果
<ul style="list-style-type: none"> ○桃花台ニュータウンは商業等の都市機能を中心に集める“ワンセンターシステム”で整備されています。 ○高齢者にとって暮らしやすい環境の維持・提供、地域コミュニティの維持・活性化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○「日常の買物のしやすさ（商店等の充実）について」のニーズ平均得点が市平均と比較して高くなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者にとって暮らしやすい環境の維持・提供、地域コミュニティの維持・活性化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」が最も高得点となっている。 ○地区の将来像に対する回答率は、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」が最も高く、市平均と比較しても高くなっている。 ○中央道桃花台（桃花台線車両基地跡地）をバスターミナルとして、全バス路線の起終点とする。（市民提案）
<ul style="list-style-type: none"> ○人口については、現在も将来にわたっても一定の人口、人口密度は確保される見通しであるが、高齢者人口密度の増加、年少人口密度の減少が見込まれる。 ○子育て世代人口の低下から少子化が進展 ○過去5年間で20歳代から40歳代の若者世代が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○定住・住み替え意向について、桃ヶ丘小学校では「他の場所に住み替えたい」が市平均よりも低い一方、篠岡、光ヶ丘、大城小学校区では市平均よりも高くなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ○ニュータウンであることから住民の入居時期や年齢層が同じ傾向にあり、住民の年代に偏りが見られ、高齢化が急激に進む。 	

⇒

⇒

⇒

⇒

まちづくりの方針→都市 MP へ反映
<p>身近な買い物環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な買い物が便利な環境を維持・整備するなど、生活利便性確保を図り、自動車に過度に頼らないまちを目指します。
<p>移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の生活利便性に配慮したこまき巡回バスの再編を検討します。 ○バス相互の乗り継ぎ性の改善に向けた交通結節点の機能強化を目指します。
<p>若者世代の定住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○優れた子育て環境や働く場所の確保等による若者世代の定住を促進します。 <p>ニュータウンの魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者世代をはじめとする多様な世代が住みたいと思える子育て環境の確保、実験的な試みや情報発信を行うことで桃花台ニュータウンの魅力向上を図ります。 <p>空き家・空き地の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者世代の定住促進やニュータウンの魅力向上にあたっては、空き家・空き地の利活用を図ります。
<p>市民交流の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民同士の交流を促進する場の整備を図ります。

...

...

...

...

施策イメージ（案）
<ul style="list-style-type: none"> ○移動販売の検討（公園、空き地等を活用した移動販売車、介護車両等の停車スペース確保） ○商業機能の維持、小規模店舗等の立地に向けた土地利用誘導（地区計画変更等）
<ul style="list-style-type: none"> ○商業施設へのアクセス利便性等に配慮したこまき巡回バスの再編 ○民間路線バス等による都市間移動ネットワークの強化 ○交通結節点機能の強化 ○住民ボランティアによる送迎に対する支援検討 ○坂が多いことを逆手にとった実証実験等の実施（自動運転技術等の先端技術の実証実験検討など）
<ul style="list-style-type: none"> ○職住近接となるように近接した企業立地 ○教育環境の整備による対外的なアピールとしてモデル校の指定 ○放課後児童クラブの充実、教育環境の整備 ○学校統廃合とその跡地活用の検討 ○空き家住宅等の除却や活用に対する支援 ○小牧市三世帯同居・近居住宅支援事業の拡充
<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を最大限活用した地域包括ケアの実現 ○持続的なコミュニティ形成に向けたエリアマネジメントの取り組み

